

【活用にあたって】

名古屋市難読地名の二回目です。

記事の中に解答があります。大人に読んでもらいましょう。

【2020年5月21日付市民版】



り、多く生えていたことから「藺沼いぬま」と呼ばれていました。それが変化して現在の名前になったなど、地名の由来は諸説あるとのこと

です。

(県郷土資料刊行会発行『西区の歴史』)

◇

【解答】

西区の住宅街。庄内緑地から庄内川を挟んですぐ南東、矢田川との合流地点そば。町の南を庄内用水路が静かに流れています。昔から、むしろを織るための材料となる「藺いん」の産地であ



稲生町

難易度 ★





中村公園や名古屋競輪場のすぐ北にある、住宅街の地名。交通量の多い外堀に沿いますが、静かな雰囲気にも包まれています。地名の



豊幡町

難易度 ★



由来は、中村公園内にある とうか。豊国神社の「豊」と、氏神（名古屋市計画局発行『なである八幡神社の「幡」を「ごやの町名』）組み合わせで付けられたとされています。比較的、読みやすいのではないでしょ (ウイウイウイ) ウイウイ 【参考】